

紙藍会便り

2019年 第35号
組合員社数：27社
発行月：2019年4月

目次

- 1. 巻頭雑句
- 2. ボーリング大会
- 3. ベトナム視察報告
- 4. アンケートデータ

巻頭雑句 ～ 知らんかい

第28回

初海外

34年間生きてきて、初めての海外旅行を紙藍会の海外視察にて経験させてもらった。

行先はベトナム。そもそも何を準備していいのかすら分からず、Yahooの検索ワードにはもちろん「初めての海外 持ち物」と検索するところから始まった。

便利なもので、「持ち物 チェックリスト」なるものを入手し、必要なものは一覧表になっていた。しかもチェック欄にチェックが出来る至れり尽くせりなものであった。

持ち物のイメージが大体つかめたところで、一番重要な情報を検索することとした。

通常、旅行先の情報を検索するワードとして「名所」「美味しいご飯」「インスタ映えスポット」等、楽しそうな文書・画像が画面いっぱいに表示されることが想像される。

しかし、私は違った。常人には理解できないほどにお腹が弱いのだ。かつ、軽い潔癖である。その為、重要検索ワード「ベトナム トイレ事情」を入力した。

都心部と田舎では結構な差があるのではないかと予想した為、「田舎のトイレ」のイメージを強く脳に刷り込むことに専念し、画像を検索していった。しかし、「汚れ」に対しては思ったほどではなかったがただ四方の壁がないトイレの画像が散見された。

そんなトイレのことで頭がいっぱいのなか福岡空港からベトナムへと旅立つ日が来た。

ベトナムの空港を降りてすぐ、気温・空気の臭い等、日本とは異なった空気感を感ずることができた。また、想像の域をはるかに超えたバイクの多さに圧倒され、いつの間にかトイレのことは頭の中から消えていた。

視察先の段原紙メーカー・日本語学校・トレーラーシャーシ製造工場等では気持ちのいい対応をして

頂き、また帰国後に参考になる話をたくさん聞くことが出来た。

一番、悔やまれるのは英語を話せないことであった。通訳の方はいたが、自分自身でコミュニケーションが取れないもどかしさを強く感じた。人生で初めて、英語を勉強しておけばと真剣に後悔した。

海外視察4日間はあっという間に過ぎていき、皆さんの刺激をもらい充実した気持ちで日本に帰ることが出来た。英語が話せない苦い経験は水に流そうと思う。

最後になります。今回、海外視察に参加させて頂きありがとうございます。

中村 功貴



2019年3月、博多スターレンにおいてボーリング大会をおこなった。博多スターレンが3月末に終了となるので、この場所では最後の開催となる。4回目の開催となり皆の腕もあがったよう、盛り上がりのある大会となった。



部門優勝をした N 氏

2019年2月17、20日に、ベトナムホーチミン海外視察をおこなった。参加者は9名で、製紙メーカー・コンテナ製造会社・日本語学校2社の視察見学をおこなった。製紙会社（An Binh Paper）では、日本の古紙は高すぎるという事と歩留りが良くないとの事で、イギリス古紙を主に使用しているという話であった。コンテナ製造会社（Tan Thanh Corporation）ではわずか20数年で従業員4人の会社が従業員600人以上となる会社まで成長したサクセスストーリーを聞くことができた。日本語学校2社（Hitecocompany）（Hikari Academy）では、日本の教育実習生となる為の、教育施設見学や日本語を話したいというニーズが高まってきているとの話を聞くことができた。全体を通して、ベトナムは、非常に活気のある国であり、また皆口をそろえていような成長性のある国であると肌で感じる事が出来た。ベトナム視察内容であった。



TanThanhCorporationにて



HikariAcademyにて

12月・1月・2月 バラ物数量対前月・前年推移データ（平均値記載）

(単位%)	段ボール			新聞			雑誌		
	12月	1月	2月	12月	1月	2月	12月	1月	2月
対前月	108.73	86.64	95.75	110.50	86.54	96.45	111.91	87.14	92.42
対前年	98.27	103.36	98.16	88.4	95.38	93.27	86.27	95.93	92.08

詳細なアンケートデータは紙藍会定例会時に配布しています。